

「風鈴列車」に乗って中村駅に行ってきましたよ



上・みんなで協力しながら笹の葉に飾り付け。右下・普段は見ることができない汽車の下側。ちょっとした冒険気分です。左下・汽車の整備に格納庫へ出発進行!「運転手さん、カッコいい!」との声援に、運転手も緊張気味です。

7月4日、大方中央保育所の年長組24人が、土佐くろしお鉄道中村駅で七夕の飾り付けを行いました。子どもたちから鉄道に親しんでもらおうと、同鉄道中村・宿毛線運営協議会が企画。

まず、願いごとを書いた短冊を風鈴に取り付けた「風鈴列車」に乗って中村駅へ。普段と違った車窓の景色に、とても楽しげでした。

到着後、改札横の大きな笹に、手づくりの飾りや短冊を飾り付け、

「たなばたさま」などの合唱を披露。駅の利用者も、児童の熱唱に大きな拍手を送っていました。

その後、アンパンマン列車や中村駅を見学し、駅長からの記念プレゼントにみんな大喜びでした。

「風鈴列車」は、8月末まで運行しています。涼しげな風鈴の音色をお楽しみください。

※お得な「1日フリーきっぷ」発売中! 詳しくは17ページへ。

(企画振興係)

台湾で「黒潮町フェア」

6月28日から3日間、台湾で「黒潮町フェア」を開催しました。

黒潮町と「安全・安心・無添加」を通じて縁のある台湾のスーパー「裕毛屋」の3店舗で行われたもので、海外では初開催。

天然由来の基本調味料を使った「さしすせそ計画」に基づく天日塩や黒糖など、町内10業者の25種類を買い物客にアピール。大西町長自ら焼き上げたカツオの薫焼きたたきや、黒糖を使った大学芋などを実演販売しました。屋台などでの外食が多いお国柄もあり、調味料よりもカツオ加工品など、すぐに食べられる商品が好評でした。

(産業推進係)



初の海外遠征先は台湾のスーパー「裕毛屋」。高知県など日本各地のフェアも開催しています。

第63回社会を明るくする運動

毎年7月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。すべての人が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

7月1日、幡東保護司会・幡東分区(代表・松岡敬夫さん)のメンバーが役場でメッセージを伝達。その後、町内でチラシを配布し、理解と協力を呼びかけました。

罪を犯した人たちの地域での暮らしを見守ることも支援になります。皆さんもできることから協力ください。

(福祉係)



スーパーで買い物客らにチラシを配布し、理解と協力を呼びかける幡東保護司会の皆さん。